

あすなろ通信

No. 125

2024.2.1発行

あすなろ保育園後援会
飯田市育良町3-15-2
TEL (0265)23-4656

新しい時代の、歳末市

4年ぶりに行われた歳末市は、冬らしい天気の中SDGSを考えながらの開催でした。バザーの売り上げは大幅に減り、食べ物の収益が伸びました。



うぐし組 (0歳)	8名
たんぼぼ組 (1歳)	211名
ひまわり組 (2歳)	211名
かっぱ組 (3歳)	4名



歳末市での実感

前日準備からそれぞれの係で保護者の皆さんに目一杯、力を

発揮してもらい、OBの皆さんと懐かしさに花を咲かせながら、手や体を一緒に動かしました。商品の値付け、餅つき、五平餅、パン生地作り、食材切りなど、一緒に同じ目標に向かって作っていく一感。その中で知り合いながら、言葉を交わし、つながっていく感覚。

そして、力を尽くして、出来上がったものを並べ、迎えるお客様たち。現保護者や子ども達、たぐやんの卒園児やOB、地域の皆さんが遊びに来て下さり、あちこちで話が弾み、笑顔に溢れていました。歳末市が人をつなげる大きな役割をしていることを改めて感じさせてくれました。熊丸先生のひとりの十の力より、十人の一の力で育てていくことが、子ども達の育ちを豊かにしていくという言葉は、まさにあすなろを象徴しているなあと感じます。

これからも、たくさん大人の手をつなぎ合い、子ども達を育てていく環境を大切にしていきたいです。

子育て講座 パワーをもらいました

「地域の方と一緒に子育てしたい」あすなろ保育園は、地域の皆さんと一緒に、子育てしようという思いがあります。地域のみなさんと子育てについて学びたいという思いから始まりました。講演を聞いて子育てが、より楽しくなることができる先生を保育士が研修で聴いて決めています。

子育て最高！熊丸みつ子先生

「10の力を持った大人より、1の力を持った10人の大人と関わった方が豊かに育つよ」、「親も間違える。そしたら謝ればいい。親は、少し抜けてるくらいでいい」、「親だけで子育ては無理、地域や関わるみんなでやるもの。足りないものは補ってもらえばいい」、「大人になってできないのは、伝えてもらってないから。伝えてもらえばいいじゃないですか」、「抱きしめてもらえばいい。足りない時には、補いにくる」、「自分をまずは大事にする。そうしないと、周りの人を大事にできないのよ」、「人は、幸せになるために生まれてきたのよ。助けてと言える人になってね」、「3億の精子の中から選ばれたあなた。お母さんが命をかけて生んでくれた。それは、確かな事。自分を大事に」。



キッズスペースの親子と歓談する熊丸みつ子先生(右側)

最後は隣の方と手をつないで、あげたり下げたりしました。「子育ては、あげたり、下げたりの繰り返し。切りがないんですよ」。できることから始めましょう。

講演会って？抵抗があったお母さん

講演会と聞くと、自分の子育てを批判されるのではないかと参加をためらっていたOBのお母さん。前回の平松先生の時に聞いてとてもよかったと今回も来てくださいました。

台風からの延期開催

6月に予定していた子育て講座でしたが、台風で延期になり12月16日に開催し98名の参加者が集いました。

コロナ禍で、人との距離を取らざるを得ない状況で子育てしてきたお母さん。おじいちゃん、おばあちゃん、助産師、保育士

と今回は様々な年齢層の参加者でした。

参加者みんなを肯定して下さる先生。お隣の方と何度も「よろしくね」と声をかけ合う事もしながら、会場中が笑い、先生の言葉に涙しながらも温かさにも包まれた、あっという間の1時間半でした。

何人もの方から「幸せな時間だった」、「出逢えて良かった」という声が寄せられました。

次回の子育て講座は、2年後を予定しています。一人で聞くのではなく、仲間と聞くと、講演会後も励ましたり、共感できる関係にもなれ、さらに力が湧くと感じました。仲間とつながっていきましょう。

感想より ～心に響きました～



イライラしちゃう人！「はい」

44歳 お母さん

「幸せになる権利がある。」当たり前なのが当たり前でできる。素晴らしい事だと感じました。大人が子どもに伝える。自分がして嬉しかったことを返していく。いつか返せば良いと思った。



36歳 お父さん

今できることを無理なくやっつけていこうと思いました。いろんな人に頼ってもいいんだなあと少し気が楽になりました。



32歳 お母さん

一人一人がより大切に思えました。今が順調！と言言葉に子育てを楽しんでいこうと思えました。

49歳 保育士

日々の保育の中でイライラする場面が多かったのでこれでいいんだあと思いました。

41歳 お母さん

笑顔の大切さ、イライラしても大丈夫。沢山大切なことをきかせてもらってこれからの子育てに生かしていきます。

35歳 お母さん

もう少し楽に子育てしよう。子どもの立場になって少し考えてみよう。ポジティブなことを考えられるようになって希望が見えました。

0歳児のお母さん

「子育ては、家族、地域、保育園、学校など周りと補い合うことが大事」とも印象に残っています。



32歳 お母さん

イヤイヤ期真ただ中。いつも怒ってばかりの自分に後悔ばかり。一人で頑張らなくていい。叱るのは大切なことと知って気持ちが軽くなりました。生きているから抱ける。今日から、いっぱい抱っこしてあげようと思います。

もっと周りの人と交流しながら子育てしたいと思いました



33歳 お母さん

生まれた時は、誰も幸せになるために産まれてくる。地域とのかかわりが本当に薄れていて公園に行っても誰とも話さずに帰ってくる人が多い今。私も、もう少し周りの子どもに興味を持っていきたいなと思いました。

40歳 お母さん

「あ～子育てこれでいいんだあ」と安心しました。国はお金をばらまき子育て支援しています。先生みたいに、現実味のある話があればお金なんか出さなくても子どもを持ち育てたいと思うのには思いました。





「ママが一番よ！」の言葉に自己嫌悪していた自分を認めてもらえたような気がして。何より、多くの方が涙していて、同志がたくさんいるんだなと体感できました。これは、SNSで繋がっている人たちとの言葉だけの励ましではえられないものだなと。



参加者の皆さんと目を合わせながら伝えていただきました

子どもは成長しているからイライラさせる。自分がイライラしちゃダメって思っていて怒ってしまうと自分が、嫌になっていた。この講演を聞いてすっきりした。子どもを大切に笑顔で接するようにしようと思いました。



同居している、核家族で住みたいと思ったことがあったが多くの大人と関わっていくことが子ども達の成長にいかにか大切かと学ぶことができたのでこの関わりを大切に続けたいです。



45歳 お母さん

イライラさせることも順調。悩める幸せ。追いかける幸せ。当たり前の、幸せを大事にしたい。ガミガミ言っても子どもは聞いていない。何度も忘れるから言い続ける。伝え続ける。大事にしたいと思います。

33歳 お母さん

いい親にならなきゃと思っていたんですが、そのままの姿で子どもと泣いて、笑って、寝て、叱って子どもと一緒に精いっぱい生きていこうと思いました。



散歩

今年度も散歩に行ける日は必ず散歩に出かけました。10時から11時くらいの時間帯にクラス毎出かけています。近年は、気候の変化から、自然物に出会う時期も変わってきています。気候に合わせてながらの散歩は、いろいろなもの、人に出会えて楽しいです。



つくし組 自分で動けるって嬉しいな



つくし組の子どもたちは、初めての物や場所がたくさんです。散歩を通して、たくさんの“はじめて”に出会ってきました。

自分で動けるようになると、気になる物や場所へどんどん向かっていきます。一年間、子どもたちの興味関心や成長に合わせた散歩場所でたくさん散策を楽しみました。



4月...5人からのスタートだったつくしさん。今では避難車2台とベビーカー1台を使って、散歩に向かっています。



月齢の小さい子は、はじめはゴザの上で、仰向けになって木陰が動く様子を見て楽しんでいました。ずり這いができるようになると、ゴザからどんどん這って出て行くようになりました。



6月...裸足のままお散歩へ。足の裏で芝生の感触を味わいました。はじめは芝生の感触にびっくりして、足を付けないようにしていた子どもが、だんだん感触に慣れ、足を付けて楽しめるようになりました。



10月...避難車やベビーカーから様々な自然物に手を伸ばし、近くで見えることを楽しんでできました。

たんぽぽ組 歩くの大好き。どんどん行こう!



散歩はみんな好きで、1時間歩くことも楽しみました。最近、歌が好きで、子ども達から散歩中に歌い始めるようになりました。道中見える、飛行機や鳥などを見つけることもみんな楽しんでます。



4月 たんぽぽの花や綿毛が大好き



5月 トマトハウスを見せてもらいました



10月 緑石を見つけて、歩くことを楽しみました



1月 霜柱が沢山出来ている田んぼと歩道を見つけて霜あそびをいっぱい楽しみました



友達と手つなぎで散歩ができるようになりました。友達を誘っても断られることもありますが、なんとか繋いでもらい出発! 「雪、あったよ」



ひまわり組 毎日どこいくのが楽しみな子どもたち

季節の植物などをみんなで見つけたりして散歩を楽しみました。最近は、「今日どこ行く？」と気になる子どもたち。子どもたちの行きたいところも聞きながら、身体を動かして遊べる場所や車を見に行ったりと日々の散歩を楽しんでいます。



4月 たくさんのたんぽぽを見つけて花束作りや虫さんと追いかけてっこを楽しみました



7月 田んぼに行って見るとまさかのバッタを発見！みんな捕まえるのに夢中！



8月 少し遠くの下殿岡神社へ行くと、自分たちで小山を登り座って滑ったり、歩いて下りたりと考えながら楽しんで遊びました



9月 インター下のトンネル。色々な絵を見つけたりみんなで「よーいどん！」とかけっこをして遊びました



12月 霜柱や氷、つららを見つけて触ってみたり、落として割ったりすることを楽しみました。見つけた時はみんな大喜び！！

おしゃべり♪あのね

◎ 今までそこにいた友達がなくなったことに気が付いた

K君(3歳7か月)「Hちゃんがない！オバケに食べられちゃったんじゃない？」

◎ 毎朝担任に合うと

K君(3歳7か月)「今日もMちゃんに会えてよかった」

◎ お年玉で買ったものを保育士に話しているを

保育士「ほしいな」

Yちゃん(3歳8か月)「残念ながらもうありません！」

◎ 霜柱を踏んで

Tちゃん(3歳11か月)「ゴリゴリした」

◎ 実を取って遊んでいる時に友達に「ちょうだい」と言われると

S君(4歳5か月)「キラヤ行っとな、お外のキラヤ」

◎ お味噌汁を飲んで

Yちゃん(3歳8か月)「なんか体があつたかくなかった！」

◎ 目の前で卵を割るところを見て

Eちゃん(4歳)「あれ？ヒヨコじゃない」

◎ 鉄がへこんでいるのを見て

Eちゃん(4歳)「重たい人が乗ったのかな」

◎ コンバインを見て

Sくん(4歳3か月)「お米とご飯を作ってくれるの」

◎ からあげを食べて

Eちゃん(4歳)「クマみたい、カリカリする」



かっぱ組 今日は何になって走る？



手つなぎよりも「走りたい！走って行こうよ！」と子ども達から言うことも多く、散歩中はほとんど走っています。また、色々なものになりきるのも面白く、忍者や動物などになって楽しんでいきます。秋ごろにはペースも速くなり小学校や消防署などへ出かけています。



4月 図鑑を見てやりたいとすぐに出かけ、レンゲソウとシロツメクサの風車作り



5月 草花に詳しい方と一緒に散歩にでかけ、教えてもらった草花を見ると今でも思い出して話し、遊んでいます



9月 カーブミラーを見つける写真撮ろう！とポーズをするのが定番に



10月 広い公園に行くと追いかけてっこやかくれんぼ



12月 登れる場所を選びながら踏ん張ってどんどん登って行きます



★ 納豆和え ★



給食室から

鬼は外、福は内！！節分に大豆を食べるのは～

節分といえば、煎った大豆を食べる習慣がありますが、昨今の誤嚥事故を考慮してあすなるでは、煮た大豆を歳の数だけ食べます。煎った豆を食べるのは、拾い忘れたものから芽が出るとよくないと言われているからだそうです。そしてお昼やおやつに大豆を使ったメニューを出します。今回は、大豆にちなんで、納豆和えを紹介します。普段のおひたしに納豆を加えるだけですが、こども達も好きなメニューです。

【材 料】 <子ども5人分>

キャベツ 100g 納豆 1パック
人参 50g しょう油 10g
エノキ 50g

【作り方】

1、野菜は適当な大きさに切り、ゆでる。
2、1の野菜に納豆としょう油をいれ混ぜて、出来上がり！！

※季節の野菜やキノコを入れて家の味にアレンジしてみてください

親子の健康

「ちいさいなかま」にまた連載します

健和会病院小児科 和田 浩

「ちいさいなかま」(全国保育団体連絡会機関誌)に、今年の4月号からまた連載をします。

2008年から2012年まで4年間連載し、それは「健康な子ってどんな子?」という本にまとめたのですが、それ以後の10年ほどの間に、子どもの病気は大きく変わりました。

コロナの影響で変わった面もありますが、一番は予防接種で変わりました。ヒブ・肺炎球菌・ロタ・水ぼうそう・麻疹・風疹・おたふくかぜなどが、予防接種のおかげで大きく減ってきました。

それによって病気の「姿」が変わったものもあります。例えば、水ぼうそうは、子どもがかかっても重い合併症は非常に少な

く、1週間くらい休めばまた元気に登園してきますが、大人がかかると重症化しやすく、特に出産直前のお母さんがかかると生まれた赤ちゃんにうつって命にかかわることもあるというこわい病気です。

以前は子どものうちにたいいていかかってしまったのですが、ワクチンによって自然にかかることはほとんどなくなり、是非とも子どものうちにワクチンを打って確実に予防したい病気になりました。そういったことを、少し詳しく書いていこうと思います。

「ちいさいなかま」は、私は30年以上購読しています。最近では特に雨宮処凛さんの連載を愛読しています。この機会に皆さんにも定期購読をお勧めします。

あすなるの予定

- 2月 2日 節分集会
- 3月 1日 ひな祭り集会
- 3月29日 成長を祝う会
・卒園式



◆子ども達がのびのびと育つよう応援して下さい◆

あすなる後援会にぜひご参加を!

- ◎より多くの人にあすなるの事を知らせ、理解者を増やします。
 - ◎より長い保身ができるよう職員、父母と一緒に、保育運動をすすめます。
- 年間(4月～翌年3月まで)1口…3000円(何口でも)通掛費、活動費などに使います。
【振込み先】飯田信用金庫切石支店 番 1520079
あすなる後援会 佐々木俊之

も無い被災地の人たちのことを思うとたまりません。お風呂ってとっても大切です。⑧

◆我が家のあすなるっこ一号に、もう身長が超されそうです。自分の時と比べると、精神的にも想像以上の成長です。親子共に成長する子育ての楽しみは、変化が大きく、やりがいの尽きないことなんですね。⑨

◆新しい年が始まって、もう1か月が過ぎようとしています。年末の歳末市も熊丸先生もあすなるを実感!時々思いおこしながら今年1年暮らしていこう。⑩

◆毎日自分の写真を見たいと写真を見つめてはにこにこ。お友達の名前も言えるようになりおしゃべりもしっかりでき毎日にぎやかです。⑪

◆元日の夕方、車中のラジオで北陸地震を知り、ただ事でないと感じた直後に飯出も。とっさの判断ができるようにしておきたいと痛感しました。⑫

編集後記

◆「風呂に入らなくて死にはしない」、入ってもからすの行水。それが今はのんびり長湯でほっこりリフレッシュ。大好きな時間です。でも水

次号は5月1日発行予定です。いろいろ情報や原稿、ご意見、ご感想をお寄せ下さい。